

企画展示



漆器箱蓋（奈良時代）  
（奈良国立博物館、国史・平安時代）  
画像提供：奈良国立博物館（撮影：森村 欣司）

# URUSHIふしぎ物語

— 人と漆の12000年史 —

# URUSHI



板胎漆器彩繪雲鳳（幕末・平安時代）  
画像提供：奈良国立博物館（撮影：森村 欣司）



南方遺跡出土黒漆塗ジョッキ形  
（岡山市教育委員会、弥生時代）

2017年  
7月11日(火)～  
9月3日(日)

主催：国立歴史民俗博物館・浦添市美術館  
会場：国立歴史民俗博物館 企画展示室 A・B  
休館日：7月18日・24日・31日、8月7日・21日・28日  
開館時間：9時30分～17時00分（入館は閉館30分前まで）  
入館料：一般830(560)円／高校生・大学生450(250)円  
小・中学生は入館料無料です。

( )内は20名以上の団体料金、総合展示もあわせてご覧になれます。  
毎週土曜日は、高校生の入館料無料です。



赤・黒漆器出土器破片（厚原遺跡出土、縄文時代）



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構  
国立歴史民俗博物館  
National Museum of Japanese History

ウルシの木が生育するアジアの諸地域では、それぞれ特色ある漆工技術が発達し、ユニークな文化をかたち作ってきました。近年の発掘調査や科学分析の成果によって、日本人と漆とのつきあいは、12000年前に遡ることが明らかにされています。そして漆を利用する文化は、国内にとどまらず、東アジア、西洋にも広がりをもちながら、現在に至っています。

本企画展示は、縄文時代から現代にわたる日本列島における人と漆の関係を、考古学・美術史学・文献史学・民俗学・植物学・分析科学など多視点的なアプローチにより総合的にとらえる初めての試みです。人の手から手へと大切に伝えられた漆工芸品、遺跡からの出土品、民俗資料などを通じて、人と漆が紡いだ豊かな歴史をたどります。

## URUSHI ふしぎ物語

### — 人と漆の12000年史 —



銀箔押張懸兔耳形兜  
国立歴史民俗博物館, 桃山～江戸時代



福井県鳥浜貝塚 最古のウルシ材  
福井県立若狭歴史博物館, 12600年前



司馬江漢作・地球儀  
永青文庫, 江戸時代



扇面蒔絵螺鈿洋櫃(台付)  
国立歴史民俗博物館, 江戸時代初期

#### 関連行事

【歴博フォーラム】 ※事前申し込みが必要です。参加無料、先着順

- 第105回歴博フォーラム「URUSHI ふしぎ物語—人と漆の12000年史—」  
日時：8月5日(土) 13:00～16:30  
講師：日高 薫(当館情報資料研究系教授)ほか  
会場：当館講堂(定員260名)

※お申し込みは、当館ホームページの申込フォームまたは往復はがきにてお申し込みください。

・申込フォームでの応募方法

れきはくホームページ→催し物→歴博フォーラム「お申し込み方法」をご覧ください。

URL <https://www.rekihaku.ac.jp/events/forum/index.html>

・往復はがきでの応募方法

「第105回8月5日 歴博フォーラム参加希望」と明記のうえ、住所、氏名(ふりがな)、電話番号をご記載し、下記宛先までお申し込みください。

〒285-8502 千葉県佐倉市城内町117番地 国立歴史民俗博物館 広報サービス室 広報・普及係  
お申し込みは開催日の2ヶ月前から前々日まで受け付けますが、定員に達した時点で締め切ります。

#### 【歴博講演会】

- 「漆芸からみえる沖縄のすがた」 7月8日(土) 13:00～15:00  
講師/宮里正子(浦添市美術館 館長)
- 「世界史の中の漆文化」 8月12日(土) 13:00～15:00  
講師/日高 薫(当館情報資料研究系教授)  
会場/当館講堂(定員260名)

※事前申込不要、聴講無料、先着順。

#### 【講演会】

- 「漆掻きの技術と文化」 7月28日(金) 13:00～15:00  
講師/工藤雄一郎(当館考古研究系准教授)ほか  
会場/当館ガイダンスルーム(定員90名)  
共催/日本漆アカデミー

※事前申込不要、聴講無料、先着順

#### 【くらしの植物苑観覧会】

- 「縄文時代のウルシと漆」 7月22日(土) 13:30～15:30  
講師/工藤雄一郎(当館考古研究系准教授)  
会場/国立歴史民俗博物館くらしの植物苑  
※事前申込不要、くらしの植物苑の入苑料が必要です。

#### 【ギャラリートーク】

日程等については、当館ホームページをご覧ください。

#### 【関連展示】

- 第3展示室特集展示「楽器と漆」 7月11日(火)～9月3日(日)  
会場：国立歴史民俗博物館総合展示第3展示室副室  
入館料：一般420円、団体350円、小中学生は無料  
高校生・大学生250円、団体200円

※総合展示(常設展示)の料金をご覧ください。

企画展示をご覧になる方は、追加料金をお支払いいただく必要はございません。

企画展示「URUSHI ふしぎ物語」に内容が関連しています。あわせての観覧がおすすめです。

#### 【同時開催中】

- くらしの植物苑特別企画「伝統の朝顔」 7月25日(火)～9月10日(日)  
会場：国立歴史民俗博物館くらしの植物苑(歴博本館から佐倉城址公園内を通り徒歩10分)  
入苑料：個人100円、団体50円、小中学生は無料  
開苑時間：9:30～16:30(入苑は16:00まで) 9月14日(月)～20日(日)は9:30開苑

#### 主な展示資料 ※期間中、展示替えを行います。

- 福井県鳥浜貝塚出土漆器(福井県立若狭歴史博物館, 重要文化財, 縄文時代)
- 青森県向田(18)遺跡出土貝殻嵌木胎漆器(野辺地町立歴史民俗資料館, 重要文化財, 縄文時代)
- 青森県は川中居遺跡出土漆器(八戸市埋蔵文化財センター-是川縄文館, 重要文化財, 縄文時代)
- 岡山県南方遺跡出土漆製品(岡山市教育委員会, 弥生時代)
- 福岡県太宰府周辺官衙出土漆液容器(九州歴史資料館, 古代)
- 柳之御所遺跡出土漆工用具・漆器(岩手県教育委員会, 重要文化財, 中世)
- 片輪車蒔絵螺鈿手箱(東京国立博物館, 国宝, 平安時代)
- 宝相華文螺鈿平座燈台(中尊寺大長寿院, 国宝, 平安時代)
- 秋野蒔絵手箱(根津美術館, 重要文化財, 室町時代)
- 菊桐紋蒔絵螺鈿櫃(犬山城白帝文庫, 愛知県指定文化財, 桃山時代)
- 朱漆花鳥七宝繋密陀絵沈金御供飯(徳川美術館, 重要文化財, 琉球)



向田(18)遺跡貝殻嵌木胎漆器  
野辺地町立歴史民俗資料館, 重要文化財, 縄文時代

#### ■交通ご案内

- 【京成電鉄線利用の場合】  
京成上野駅から京成佐倉駅(京成本線經由特急利用の場合約55分)下車  
バス約5分(一部直通バスあり) または徒歩約15分
- 【JR線利用の場合】  
東京駅から総武本線佐倉駅(快速利用の場合約60分)下車  
バス約15分(一部直通バスあり)
- 【自動車利用の場合】  
東関東自動車道 四街道ICまたは佐倉ICから約15分  
(無料大駐車場完備)



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構  
**国立歴史民俗博物館**  
National Museum of Japanese History

〒285-8502 千葉県佐倉市城内町117番地

■お問い合わせ

【ハローダイヤル】03-5777-8600(8時00分から22時00分まで)

【メール】[info@rekihaku.ac.jp](mailto:info@rekihaku.ac.jp)